

# フットボールキャンプ2024秋



## 日時

2024年

10月19日(土)・20(日)

## 会場

- ・グラウンド  
今津総合運動公園
- ・民宿  
はる (ラランジャ)  
よしのや・いづみや

## 活動概要

### AS.Laranja主催の1day大会を2日間実施

《10月19日 土曜日》

《10月20日 日曜日》

◇U12

8チームでの予選リーグ  
順位決定トーナメント

◇U12

8チームでの予選リーグ  
順位決定トーナメント

◇U9

7チームでの予選リーグ  
順位決定トーナメント

◇U9

6チームでの予選リーグ  
順位決定トーナメント

### 《対象》

- ・AS.Laranja academy プラス会員・少年チームのべ29チーム  
合計 1,040名参加 (各チームスタッフ・保護者含む)

### 《参加チーム》

AS.Laranja・金城JFC・ボルト東山FC・S.A.I footballClub・リフ  
AVANTI東大阪FC・米原JFC・口サードFC・LST・唐崎SSS・洛央FC  
roveciata・里東FC (順不同)

# AS.Laranjaの宿泊イベントは・・・

## ◆フットボールキャンプ

フットボールの向上をメインテーマとする  
宿泊体験。通常スクールとAcademyプラス  
それぞれにあります！（年間2回）

👉今回はこちらのキャンプに  
行ってきました👉

## ◆HOPEキャンプ

様々なアウトドア活動を通じて、  
食・リーダーシップ・フォロワーシップを学ぶ  
体験型の学習（年間2回）  
無人島でのサバイバル体験  
サイクリング  
鹿肉捌き など



AS.Laranjaでは、人間を尊重  
し、自分らしく生きる幸せを見  
つける“眼差し”を育みます。

「○○であるべき」ではなく、  
個々を認め合う、共育を！



## 目的

- 大会を通じて結果と内容を求め、競技面でのレベルアップを図る。
- ミーティングやディスカッションの機会を増やし、チームビルディングを行う。
- 子ども達自らが大会運営の視点を持ち、様々な気付きを得る。



## 振り返り (10/19)

前日の予報とは打って変わって、午前から雨量が多い1日でした。

- ・雨天時のクレーコートでの試合
- ・休憩時間に身体が冷えない過ごし方を工夫すること

ピッチ内外で工夫が求められる1日でした。

こんな状況でも楽しめる、戦えるメンタルを持ちたい。と思う1日でした。



## ■ ネイビー ■

慣れない、雨のクレーグラウンドに、なかなか対応できない時間が多かったです。それでも、昼休み前の着替え、服洗い、など、保護者様に手伝ってもらって他チームの参加者も多い中、なんとか自分達で頑張りました。そのような状況は、サポートする大人も手を差し伸べたくありませんが、彼らの力を信じて良かったと思います。

サッカーも自立に向けた歩みも、その積み重ねが成長につながると改めて感じさせてくれました。

プレー面では、最近のテーマである

チャレンジ&カバー（サポート）は、ピッチコンディションが悪く、予想しないことが多く起きる状況下では、特に大切で、とてもレベルアップを見せてくれる選手がいて驚きました。



## ■ オレンジ ■

上手くグラウンド状況を考えたプレーの選択が出来てきました。

相手のゴール前や、裏のスペースにサポートし、優位に試合を運ぶことが出来ました。

観て判断するのは相手だけではなく、グラウンド状況や天候まで敏感に感じてプレーしないといけないので、そこができたことは大きな成果です。

守備の部分ではまだまだ個人でプレーすることが多いです。

守備こそ「組織」が大切で、みんなで協力しないといけないので、以後、1日目の成果、修正部分を整理して戦います！





# 振り返り (10/20)

どの選手も疲れがあったりパフォーマンスが下がるのは当然です。その中で、どれだけ工夫をして、柔軟に考えてポジティブさを持てるかが課題でした。特に今の5.6年生はその部分を課題とする子が多いのですが、年々、その課題改善に向けて取り組んでいるなぁと思いました。風が強く、試合中、強風でこけた子がいて、非常に可愛かったです。



## ■ ネイビー ■

1日目の課題として

- ・ TR成果を出すこと
- ・ 試合を戦い抜くことを掲げました。

明らかに、前日より、試合を戦い抜き、工夫しているシーンが多く見られました。

下記に詳細を記載していますが、ほとんどのゲームを中学生コーチからのコーチングをメインに活動しましたので、子ども同士の学び（遊び）の効果が非常に大きかったと思います。

「10歳の壁」の時期。客観的に物事を見たり、自立に向かうにあたって、不安定なことが多くなると言われています。

今のネイビーの子達の現状は、指示を聞いて動いたり、タスクをこなすことが得意な子が多いので、まずは自己表現の機会が増えればと思っています。その中で、多くの壁に自ら立ち向かう心を持ってれば嬉しいと思っていたので、中学生コーチがその環境を作ってくれて、感謝です。

「チャレンジしなあかん」がら「自然なチャレンジ」となったとという印象です。

彼らに今必要なのは、余白、遊びだなぁと改めて実感しました。自戒の念を込めて。





## オレンジ

ピッチ外での行動や準備も、自分達で意識する様に伝えてきました。  
2日目もしっかりパフォーマンスを発揮するために早く寝て、朝から散歩や体操をする子どもたちもいました。  
疲れている時こそチーム力が大切です。

ウォーミングアップからいい準備が出来たので、1試合目からいいスタートが切れました。  
課題でもあった、疲れてきた時の2試合目以降もチームで戦い勝利を掴んで決勝トーナメントに進出。  
3試合目以降は流石に疲れが出てきてしまった様子でした。  
みんなでチーム力を発揮しようとする姿勢はあったので、その姿勢を継続して持っていきたいです。





◇◇◇全体を通じて◇◇◇

⚽新加入の子に対しても、とても自然にコミュニケーションを取り、下の学年の仲間にも、食事中に「食べられへんか!？」と声をかけたり、本当に優しいメンバーが多いと感動しました

⚽親元を離れても、逞しく活動する姿に、成長を感じました。

⚽中学生コーチに、全体の活動の一部と、ネイビーの試合のコーチを任せました。京都市の小学校でも、子ども達を複数の教諭で見守る「チーム担任制」が推奨されています。今回の活動は同じような狙いと、子ども同士の方が気付き合ったり、さらに心理的安全性が高く、チャレンジしやすいかと思い、行いました。子ども達は、本当にいきいきプレーして、しかも必死でした。日頃から、コーチが、子どもに対して提供する情報量の多さと質、環境作りについて、再考されました。

⚽「チーム担任制」の話とも被る内容ですが、改めて、子どもとの関わりには、「余白」と「遊び」が大切であると感じました。

⚽お風呂での会話で、お母さんが好きなことがよくわかりました。

